

登録コード	A3596478	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究Ⅲ				担当教員	城田 徹央		
英文授業名	Thesis ResearchⅢ							
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	4年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	造林学に関する専門的な知識や研究能力を修得している。		
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	地球温暖化など国際問題を背景に造林学の地域課題を抽出し、解決する能力を有している。		
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	造林学に関する専門的な知識や研究能力を基礎として、情報を収集・統合し、発信できる能力を有している。		
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	地球温暖化など国際問題を背景に造林学の地域課題を抽出し、解決する能力を有している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	テーマについてレビューを行い，解決する手法について吟味する。適切な手法に基づきデータを収集する。							
(5)授業計画	9月～10月：データの収集と解析 11月～2月：データのと解析とプレゼンテーションの作成および執筆 最終週にアンケート調査を実施します。							
(6)自主学習の指針	自主的に論文を収集し，研究計画を立案する。研究方法に関し指導教員との議論を重ねる。							
(7)成績評価の基準	積極性，情報収集能力，論文執筆能力，プレゼンテーション能力，自己管理能力によって評価する。							
(8)事前事後学習の内容	関連する情報を収集し，吟味する。							
(9)テストやレポートの予定	ゼミにおける資料の提出，プレゼンテーションの実施が課されます。							
(10)成績評価の方法	ゼミの発表，経過報告会のプレゼンテーションとその資料，専攻研究論文および発表会におけるプレゼンテーションによって評価する。なお参加が不足する場合と毎月の締切が守られない場合には不可とする。9月：データ収集の完了，11月：データ解析の完了，12月：第1稿の提出，1月中旬：最終稿の完了，2月上旬：専攻研究論文の提出，2月中旬：発表会におけるプレゼンテーション							
(11)質問、相談への対応および連絡先	積極的な相談，連絡が重要。連絡先は城田まで。							
(12)履修上の注意	研究計画に関する綿密な打合せを必要とする。							
【教科書】	指定しない。							
【参考書】	指定しない。							